

中小企業のイノベーションとIT活用の ポイントが見える！13社の挑戦

栃木県チームイノベーション実践プログラム 企業変革事例 公開セミナー

経営者と社員がともに取り組んだ
“7か月の変革の軌跡”をぜひ、ご覧ください。

2026年2月5日（木）開催

参加
無料



このセミナーで学べる3つのポイント

商品・サービスの革新

自社の強みをふり返り
顧客に向けて、改めて磨く

チーム力向上

個人の課題認識・強みを
活動に活かす

IT活用

状況にあったツールで
はじめて成果を出す

■開催概要

主催：栃木県 産業労働観光部 経営支援課

運営：スコラ・コンサルト

会場：栃木県庁 研修館4階 講堂

※ZOOMでのオンライン聴講も可能です。

日時：2026年2月5日（木）13:00～17:00



参加はお申し込みフォームから：<https://forms.office.com/r/RNhhPNLcTY>

上のQRコードから、お申し込みできます。

■こんなお悩みはありませんか？

- ・自社の商品・サービスに変化がほしい
- ・社員の自発性・主体性が感じられない
- ・経営層と現場が、きちんとコミュニケーションを取れていない
- ・再成長したいが、何から始めればいいのか分からない



長年、仲間とやってきた中小企業だからこそ、の難しさを越えるためのヒントが、このセミナーにあります。まずは、刺激を受けに、ぜひご来場ください！

《セミナーの4つの魅力》

①中小企業の変革のポイントが掴める

②当事者の声から学べる

③参加企業からリアルな刺激を受けられる

④多様な業種の事例で貴社にも応用できる

■このセミナーのポイント

中小企業の限られた人・時間を「①商品・サービス」→「②IT活用」→「③チーム力」に割いて、変化を生み出すプロセスが、各社の体験から学べます。

なぜ、商品・サービスなのか

お客様に選ばれるのは、自社の商品・サービス。そこに力を入れることで、自分たちの“価値”を見直します。

①商品・サービス

3点が重なるところで、自社の変化をつくりだそうと、試行錯誤してきたことを発信します。

②IT活用

なぜ、IT活用なのか

深刻な人手不足の中、効果的な変革を進めるため、業務効率化、情報共有、データ活用などにITを活用します。

③チーム力

チーム力とは

変わる取組みをともに実践することで、チーム力が高まります。互いの強み、異なる見方が取組みとチームを強くします。

■セミナーの内容

R7年度にチームイノベーション実践プログラムに参加した13社のメンバーが、商品・サービス・ITの取組みで得た気づき・リアルな変革ストーリーを発信します。

【参考】2024年度の事例：仏壇仏具店

これまで

亡き父が守ってきた買やすい価格、豊富な品揃え、丁寧な接客が自慢の仏壇仏具店。家族での受け身な営業とコミュニケーション不足でモヤモヤ。

トライ！

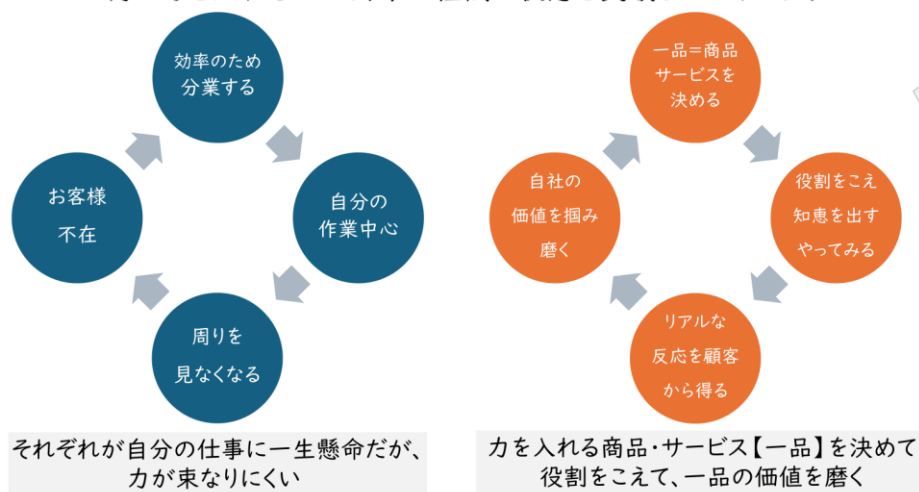
【オススメ商品の設定 × 新たな販促 × ITで情報共有】

- ・たくさんある位牌、仏壇の品揃えの中から、オススメ商品を話し合って設定。
 - ・オススメPOPを掲示、売場も見直し、ケーブルテレビでセール告知を打ちだし。
 - ・見えにくかった互いの予定・動きもカレンダーツールで共有、連携しやすく。
- ⇒1月には前年比900%の販売実績を記録、大きな自信に。

これから

家族・仲間と力を合わせて、仏壇仏具の相談に丁寧に対応し、お客様ご家族の子孫繁栄に貢献する存在になる。

何に力を入れることで、今の組織の状態を突破していくのか？

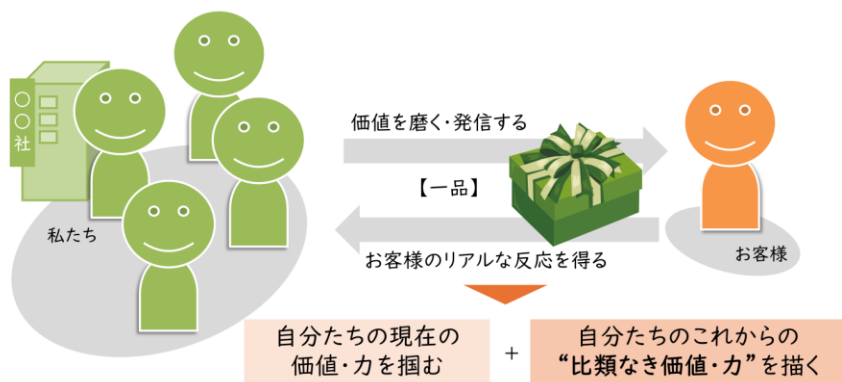


【前提とする考え方①】

誰もサボっていないのに、変化や成果が見えにくい。現状の仕組みを維持するための仕事に、多くの時間と労力が使われがちです。お客様の顔が見えない、働く人が意味を感じにくい仕事になっていませんか？

部門をこえた商品の取り組みを通して、掛け声に終わらない、お客様に向かった仕事に変えていきます。

商品・サービス【一品】を決めて役割をこえて力を入れ、顧客反応を得ることで、自分たちが提供している現在の価値を掴み、未来の価値を描く



【前提とする考え方②】

変革では、つい売れていない商品・サービスや問題を対象にしがちです。

未来を描くために、支持されてきた商品・サービスに取り組むことが基本です。そこから、わが社の強みや価値を掴むことができるからです。自社の強みが活きた、これから力を入れていきたい商品に取り組むのもオススメです。

■変革事例セミナー当日の進め方

日時：2026年2月5日（木）13:00～17:00 ※12:30開場

会場：栃木県庁 研修館4階 講堂

※オンライン参加の方は12:45にZOOM開場

1・オリエンテーション

- －開会のことば
- －本日の目的・進め方
- －変革のポイント

2・プログラム参加各社からのプレゼンテーション（発表）

- －各社からの学びと成果の発表
- －聴講のみなさんから各社に投票とコメント入力

3・閉会

- －投票結果発表、上位企業の表彰とコメント
- －総括

役立つ、発見がある内容を発信できるよう準備しています。



会場の様子：リラックスした雰囲気で行われます。



各社のスタイルで発表します。



おくりや小山（小山市）

たくさんの方のご参加をお待ちしています！

2025年度・プログラム参加企業の挑戦

アド宣通（宇都宮市）

管理部門のメンバーが、事務所を飛び出し、かゆいところに手が届く“先回りメンテナンス”に挑戦。チラシ片手に店舗訪問。栃木のキレイなお店づくりをサポートします！



あとリエ ざくろいろ&キャンドルスタジオibuki（宇都宮市）

キャンドル、サンドアート、デインプルアートなど工芸体験ができるアトリエ。直売、イベント出店強化でアートの癒しの力を届ける！



オチカイ・テクノス（栃木市）

解体一筋50年。個人宅の片づけサービスを開始。強みの丁寧な仕事ぶりでタンス引取りから解体、リフォームまで対応する総合建設業へ。チラシCM、歌など認知拡大にもトライ。



お布団工房（小山市）

ネット販売に強い布団屋が、工場直売にチャレンジ。お客様と直に触れあうことで、自社製品の価値と誇りをより感じ、お客様には直接買える喜びを。地域の人々が集う憩いの場をめざす。



クイーン洋菓子店（宇都宮市）

地域の名店が、祖父から伝わる“若草ポテト”を一品に、商品・売場・接客・販促を見直し。販売数量はなんと6倍に！ここで培った打ち出す力を他商品にも展開していく。仲間とのチーム力もよりアップしたい！



コハート KOHART（宇都宮市）

“日本初の教室型AIスクール”として、栃木県企業の生産性向上に貢献しようと試行錯誤。入口商材をつくり、継続的に顧客企業を支援できる商品を開発中！



白井石材・那須芦野 石の美術館（那須町）

隈研吾氏が設計、地域に残る石蔵を改装し、活かした美術館。館内の玄人好みの、説明を要する価値が伝わる鑑賞マップを作成、芦野石と地域の魅力をより多くの人に！



セミナーには、
チームイノベーション実践
プログラムに取り組んだ
13社が登場します。

貴社に活かせるヒントが
きっとあります。

ダイエー（日光市）

お土産用湯波を開発したパイオニアとして、湯波のアップデートにトライ。工場訪問、他社品の食べ比べ、自社商品の歴史を紐解き、商品の価値を磨き、リニューアル商品を開発中。



タカダ（那須塩原市）

地域にしっかり馴染んだ文房具・包装資材の店タカダが、培ってきた商品知識や寄りそう接客力を活かしたより面白い売場づくりに挑戦。めざすは“博物館”みたいな売場！



西堀酒造（小山市）

日本酒酵母を使ったウイスキー「哲」、光によって味を変える日本酒「イルミナ」など日本酒の伝統を未来につなげるために挑戦し続けるイノベティブな酒蔵が、価値の発信にもトライ。



北松（鹿沼市）

大手ホームセンターの製造委託で磨いてきた培養土をつくる技術を活かして自社製品の開発に改めてチャレンジ。初心者～上級者まで満足できる特別な一品になるか？！



若竹の杜・若山農場（宇都宮市）

「知っているけど行ったことがない…（栃木県民）」をどう乗り越えるか。次世代メンバーが、お客様の声を聞きながら、楽しみ方が伝わる商品づくりに奮闘中！



野岩鉄道（日光市）

沿線価値はたくさんあるが、鉄道旅の目的地になりづらい。自慢の企画力を活かし、“使い方自由自在の貸切列車サービス”を開発。個性豊かなメンバーが、あなたにぴったりの貸切プランを提案！



■お問い合わせ

（株）スコラ・コンサルト（栃木県受託企業）

栃木県チームイノベーション実践プログラム運営事務局



このQRコードから、
セミナーについて
のお問合せフォーム
に行きます。